

小平市民活動支援センターあすびあ
は、企画を次々に考えています。
詳細はチラシで。

予告… これからのイベント 2011年

会場はあすびあ会議室、時間は午後2時～4時。
詳しくは市報などに掲載します。

🌞 第3回学習会「地域情報紙が消えていく」

1/29

山田優子さん(元アサヒタウンズ副編集長)

🌞 第4回学習会「これからの街づくり
—歩車共存を考える—」

2/5

亙理 章さん(トヨタ自動車㈱IT/ITS 企画部)

🌞 第4回市民活動交流サロン

2/19

「市民活動と補助金」市民活動支援公募
事業などについて

河原順一さん(市民協働参事)他

🌞 第5回学習会「小平流『ご近所の底力』」

3/26

名和田是彦さん(法政大学教授、平成20年
小平市市政アドバイザー)他

NPO フェスタ in 元気村 2010 反省会

反省会とはいえ、早くも来年度に向けた意見が
活発に出了。例えば、

- ・学生たちの手伝いがあった
- ・電動車椅子でも通れるように
- ・展示だけではアピールできないので、毎年新しいことをする
- ・プログラムなどの資料は参加団体に前日配布を
- ・三鷹でやっている「ひとこと団体発表」を
- ・コダイラブランドのPRはどうか 等々

協働とは何か? どのように進めるのか

講演会とパネルディスカッション 中央図書館視聴覚室
松下啓一さん(相模女子大学教授)の講演会では、
例えを引いて協働についてのわかりやすい説明
がありました。パネルディスカッションでは、
高橋清一さん(市民活動支援公募事業審査員等)、
NPO 法人子育て広場さらら、東京都薬用植物園を
守る会、KASA(小平自閉症を考える会)のみなさん
が、平成21年度市民活動支援公募事業を実施した
メリット、デメリットについて話し合い、会場
からの質問も多数あり充実した内容でした。

平成22年度

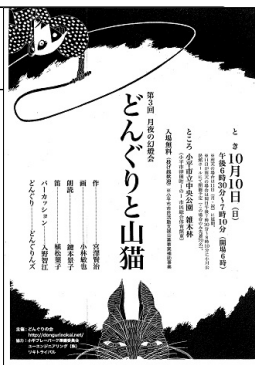
小平市市民活動支援公募事業*

◆月夜の幻燈会

「どんぐりと山猫」

10月10日 どんぐりの会

幻燈会に必要な電気は自転車
発電機でつくりました。子
もから大人まで大勢の人たち
がリレーでこいでつくりまし
た。



◆スマイル(自転車タクシー)に乗ろう!(3面)

「便利で楽しい地域交通手段として自転車タクシ
ーを味わう」: 10月24日 自転車スイスイ
見るのは楽しく乗るのはもっと楽しい自転車タク
シーがNPO フェスタの会場へやってきました。

小平市いきいき協働事業提案制度※

▼「生ごみ堆肥で作った野菜を食べよう
(地産地消・資源循環モデル事業)」

9/18

4月と11月に家庭の生ごみを収集し堆肥化しま
した。その堆肥を使って農家が栽培した野菜を、
生ごみを提供した家庭が購入し食べることで、生
ごみを資源として地域で循環させます。さらに、
生ごみを提供した家庭が農作業に関わり、農家と
顔の見える関係が構築されることで、生ごみの地
域内循環の確立を目指しています。

(NPO法人小平・環境の会)

▼コミュニティビジネス起業講座

11/24

まちを元気にするビジネスにチャレンジしよう
という20人の市民が参加。6回目のこの日は13
人が出席して「事業のコンセプトづくりと情報発
信のやり方」を熱心に学んでいました。最終の8
回目(12/8)に「事業プラン発表会」が予定され
ているので、講師への質問にも気合が入ります。
講座は10月13日から毎週水曜午後7時～9時半
に行われてきました。(企画・運営: NPO 法人
Mystyle@こだいら、於: 小平市中央公民館)

**新しいことをいっしょにする
あなたをまだまだ募集中!**

イベント部会 広報部会
フェスタ部会

ボランティア・市民活動情報紙

おむすび

発行/平成22年12月9日(年4回発行)

発行: 小平市民活動支援センターあすびあ 〒187-0031 東京都小平市小川東町4-2-1 電話: 042-348-2104 Fax: 042-348-2115

E・メール: info@kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp

制作: 指定管理者 特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク

URL: http://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp

*市民活動支援公募事業とは…市内で活動する市民活動団体が自ら企画して実施する公益的な事業に対して、市が事業に要する費用の2分の1(最高30万円)を補助する事業。